

委員長 校章について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 【資料2の説明】

委員長 各委員からご質問ご意見等ありましたらお願いします。ご意見がないようです
で、校章についてはご承認いただいたということをお願いいたします。

(3) 校歌について

委員長 校歌について、事務局から説明をお願いします。

事務局、委員A、委員B 【資料3の説明】

委員A 歌詞を作成するにあたって、次の3点を大切にしました。1つ目に「主役となる子供の思い」、2つ目に特認校制度を導入していただけるということで、「南砺市内から集う全ての子供たちの気持ちを一つにする」、3つ目に現在、歴史ある井口小中学校の校歌を思い出せるように「現校歌を生かしながら未来を託す」の3点です。昨年度末、現中学1年生に国語の特別授業を実施しました。生徒に校歌で残したい言葉を聞いたところ、多い順に「赤祖父」「わが母校」「敬止」でしたので、この3つを歌詞に加えました。また、南砺の義務教育学校ですので、みんなで新しい学校をつくるため「伸びゆく光」。今までの伝統を受け継ぐということで「明日の光」。南砺つばき学舎の理念である「希望の光」としました。校歌の1番は、南砺市初の義務教育学校を創っていこうとする士気を高める歌詞としました。そして、目を閉じると井口の美しい自然が思い浮かぶような意味を込めさせていただきました。2番目は、井口小学校は県内でも大変古く、147年の歴史をもっています。元々、「敬止小学校」という名前でしたので、「敬止のほまれ芳しく」の言葉が入っています。そして、地域の方々が大切にしてきた、「つつましやかで他を思いやる心」「おかげさまの心」にもつながるフレーズとなっています。3番目は、これから未来に、この学校が今後100年ずっと繁栄していくように思いを込めて「共に描こう世界の未来」としました。

委員B 作曲にあたり、歌詞にある想いをどのようにメロディーに乗せるかが大変大きな課題でした。南砺市初の義務教育学校の校歌ということで、新しい感覚の校歌をつくりたいと思いました。大事にしたことは「希望に満ちた曲風」、「歌詞から感じられるエネルギーを生かした旋律」、「言葉のイントネーションやリズム、フレーズを考えた旋律」、「覚えやすい旋律」、「音域を考慮した旋律」この5つをポイントとして考えさせていただきました。常に頭の中にあっただのは、「児童生徒の笑顔」と「児童生徒の一生懸命な姿」です。「笑顔で前進」「新しい学校を僕らが創っていく」という強い気持ちを込めて、ダイナミックな構成にしました。現在の井口小中学校の校歌の曲風は、前向きでリズムカルな曲となっていますので、その気持ちを大切にしながら、作りま
した。